

大通周辺を最重要検索エリアに

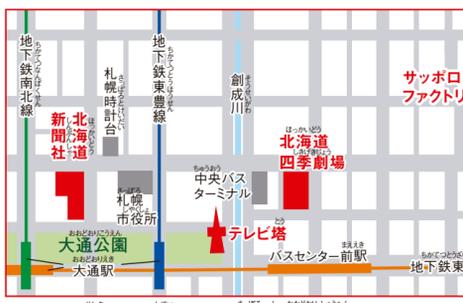
サンタは今年もどこに来る。サンタクロースの行方を追う捜索チーム特捜班「S.A.N.T.A.」は、札幌市中央区にある大通公園から北海道四季劇場、サッポロファクトリーまでの一帯を最重要検索地域に指定。エリアSANTA(サンタ)と名付け、捜索を強化することを発表。過去3年にわたってサンタの痕跡が多く発見されている同エリアを徹底的に捜索することで、発見に結びつける構えだ。

捜査員の増強や新システム試運転
特捜班「S.A.N.T.A.」の三田行三隊長は23日、記者会見を開き、今年の新たな作戦として「エリアSANTA」を設定し、同エリア内で大規模な捜

「エリアSANTA」と指定



エリア「SANTA」のほぼ中央に位置する北海道四季劇場(左上)とさっぽろテレビ塔(右)、創成川公園(左下)



「エリアSANTA」に指定された札幌市大通周辺

三田隊長は「サンタが発見されれば、このエリアで人・モノ・技術を結集させる」と説明。まずは道新ビルや北海道四季劇場への超高性能ハイビームカメラ設置から着手する。さらには、先日発表した「ナカイの疑似な囁き声」で「ナカ

情報を寄せられたのは3千件以上だった。捜索チームでも多くの対策を講じてきた。昨年は道新ビル屋上に足跡が発見された。式には、特捜班メンバーや同班が連携する専門

機関関係者50人が出陣。特捜班という役割になり、われわれの進化と真価が問われる。昨年のような失敗は繰り返したくない。今年も最後まで諦めずに捜索したい」と意気込みを語った。

は捜索訓練を開始。サンタの動きを想定し、特殊専用のサインやサンタ発見時の対応の確認が行われた。また、カメラマンによる決定的瞬間の撮影方法指導や聞き込み調査のスキルアップ指導などが行われた。

サンタ検定2級という難関を突破したエリア捜査員だけに、迅速かつ精密な動きが求められる。そのため、訓練をこなす捜査員の表情は真剣そのもの。捜査員たちは、約1時間の訓練の中でそれぞれ技を磨いていた。

エリア指定の目的について、三田隊長は「強化エリアができることで、目標がより具体化され士気向上につながる」と語る。今までは施設ごとに捜査員が割り当てられ自己判断で捜索を行うため、連携が取れなかったという。今回は、エリア全体をユニット形式で連携を取りながら動く

エリアSANTA 指定の優位性とは

ため、タイムラグが発生する可能性は低くなる。また、捜索チームの夢見る子も応援室長の仁吉田さんは「単なる囲い込み捜索ではなく、サンタはどこに居るのか、具体的な概念として実体化する目的もある。この概念が子どもたちに浸透し、エリアの注目が高まることで、よりサンタも現れやすくなるのでは」と推測する。

サンタさん、今年も北海道四季劇場へ

「オペラ座の怪人」俳優対談



笑顔でサンタへの夢を語る笠松さん(左)と佐野さん(右)

今回の「エリアSANTA」指定により、該エリア内の人びとに思いを抱えているのか。そこで劇団四季の俳優、佐野正幸さんと笠松はるさんに話を伺った。笠松さんはヒロイン・クリスティーン役、佐野さんは怪人役として出演する候補の一人だ。

佐野正幸さん「日本語・フランス語どちらで話すか楽しみ」

年ぶりの公演で開幕がクリスマス直前ということもあり、サンタが祝いに来るかもしれないと期待されている。「エリアSANTA」に選ばれてとても光栄です。そう笑顔で話す笠松さん。「劇中で仮面舞踏会のシーンがあるのですが、もし来てくれたら一緒に踊りたいです。佐野さんは「パリのオペラ座になった北海道四季劇場にサンタさんが来た時、日本語とフランス語どちらで話すか楽しみ」と話す。

笠松はるさん「仮面舞踏会でサンタさんと一緒に踊りたい」

きは片手を上げていないと、恐ろしいことが起きるかもしれないので注意を促す。同作はストーリー自体も魅力。「才能豊かなのに、顔にコンプレックスを抱えた怪人の孤独さを感じてほしい。毎回心を込めて演じているので、多くの人に見てほしいです。」(佐野さん)。「運命に流されながらもしっかりと決断するクリスティーンさんの動きをみてもらえたら、24、25日は休演ですが、公演チケットをクリスマスプレゼントとして大切な人に渡しても良かったらうれしいです。」(笠松さん)。



「オペラ座の怪人」舞台写真撮影：堀勝志古

SANTA NOTE

北海道四季劇場で12月23日から上演予定の「オペラ座の怪人」。怪人クリスティーン、ラウルの3者が繰り広げる究極のラブストーリーとして世界中で愛されているが、この傑作の舞台、フランスのクリスマスのようなものだろうか。

プレゼントはスリッパへ!? フランスのクリスマス

所だ。フランスでは靴下だけではなく、スリッパや靴をクリスマスツリーの下に並べるといふ。クリスマスの朝目覚めると、並べられたスリッパや靴の前にプレゼントがちゃんと置かれている。しかも、起源地のスリッパなのか、起源を調べてみても詳細は不明だ。今年フランスは、このフランス式プレゼントの新しい方を試してみたい。たまた、靴下なら大きいサイズを用意すれば大きなプレゼントがもらえるという期待感も大きい。スリッパを用意したからといって、大きなプレゼントをもらえる気がしないのも、悩ましいところではある。

◆サンタ運送時の対策マニュアル発表(2012年12月)
サンタに遭遇したとき「対策マニュアル」
次回11月下旬朝刊予定

◆サンタ運送時の対策マニュアル発表(2012年12月)
サンタに遭遇したとき「対策マニュアル」
次回11月下旬朝刊予定

◆サンタ運送時の対策マニュアル発表(2012年12月)
サンタに遭遇したとき「対策マニュアル」
次回11月下旬朝刊予定